

# まちの出来事



▲熱弁をふるう大畑氏

## 子育ては朝が決め手、早起きは自立の第1歩 第3回子育てフォーラム

「今どきの子育ての極意をテーマに保健文化センターで1月17日、大網白里子育て支援ネットワーク協議会による第3回子育てフォーラムが行われました。親子連れの約150人の来聴者が集まる中、九州ルーテ

ル学院客員教授の大畑誠也氏が講演。公立高校の校長を歴任し、学校改革などの自身が実践した経験を披露しました。大畑氏は「21世紀の問題は人間関係。希薄化している」と語り、その解決策として5つの重点事項「挨拶・体力・感性・集中・思考」をあげ、人間力として必要であると力説しました。



▲松橋さんの勤める病院の前の風景



▲職場での松橋さん(左)

講演を聴いた男性は、「九州弁交じりの楽しい話だった。それ以上に子育ての間違いに気付くことのできた素晴らしい講演だった」と語ってくれました。

## 異国の地で医療に携わる町民 ベトナムからのエアメール

広報7月号で紹介しました青年海外協力隊として、ベトナムの看護師・助産師の技術や知識向上を図るために派遣

こんにちは、大網白里町の皆さん!!  
現在ベトナム、アンザン省フータン郡総合病院で助産師として働いています松橋野笛です。

JICA(国際協力機構・青年海外協力隊)で派遣されて、早7カ月。派遣動機は、「何か自分にも誰かの役に立てる事があれば」と思い今に至ります。

私の勤める病院は、イメージ的には大網病院のような役割を持つ病院(設備や体制は全く違いますが)です。言葉、文化、気候、価値観など違う国で生活するという事は正直大変です。赴任当初は、日本の視点になって物事を判断してしまう癖が抜けず、随分苦労しました。7カ月後の今、少しずつ自分を理解してくれる人が増え、フータン郡に溶け込んでいる気がします。仕事の方は、まだ毎日業務に慣れるので精一杯。原因は、相当難しいベトナム語。皆さん、ベトナム語どんな言語か分かりますか? 帰国後には皆さんにベトナム語を知ってもらえるまでに語学が成長できる事を信じ日々精進です。

外国人が自分しか居ない場所に身を置いて、英語も通じずベトナム語での会話。毎日苦労の連続ですが、それでも、ここに来てフータン郡の人々の笑顔、文化、習慣に触れ、自分自身の視野が少しずつ広がっている気がします。

与えられたチャンスをプラスにするのもマイナスにするのも自分次第。赴任して1年後は、病院内で日本の医療についてプレゼンテーションが出来るよう頑張ります!!

## 安定した走りです総合2位 第40回山武都市民駅伝競走大会

小学生から一般までの13人が、一本のたすきをつないで駆け抜ける「第40回山武郡市民駅伝競走大会」が2月11日、山武市蓮沼スポーツプラザを発着点として行われました。



▲前半コースのゴール

- ◎大会結果(総合)
- 優勝 東金市 (1時間37分47秒)
  - 第2位 大網白里町 (1時間40分38秒)
  - 第3位 山武市A (1時間41分00秒)
- 本町参加選手 ※競略、走順
- 板倉沙季(大網中) 区間新
  - 楠木友美(大網中) 区間賞
  - 吉野菜々華(季美の森小)
  - 高橋 翔(ながた野) 区間賞
  - 渡辺航介(大網中)
  - 澤田 和(瑞穂小)
  - 金坂翔平(小西)
  - 山田昂志(大網中) 区間賞
  - 小倉梨花(増穂小) 区間賞
  - 安藤直樹(みずほ台)
  - 磯野友希(大網中)
  - 五十嵐潤平(大網小)
  - 高知尾啓輔(永田)



▲後半コースのスタート



▲たすきをつなぐランナー

## 炎に願う 1年の健康 金谷1区どんどつ火



▲棒の先につけたおもちを焼く参加者

五穀豊穡と無病息災、交通安全などを祈る金谷1区の伝統行事「どんどつ火」が1月14日、金谷1区公民館前の田んぼで行われました。会場には青竹を骨格とした数十メートルのやぐらが組まれ、午後6時に点火。炎は瞬く間に頂上へ到達し、パチンドンと大きな音を立てて燃え盛りました。会場では、あんどやきなこをまぶしたつぎたてのおもちや、温かい甘酒なども振る舞われ、会話に花を咲かせました。やがて炎が下火になると、持参した正月飾りやお守り、御札などを燃やしたり、木の先につけたおもちを焼いて食べたりしながら、今年1年の健康を祈りました。